

木と生きる幸福



2019年3月期 第1四半期決算

2018年7月31日 住友林業株式会社

目次

1. 2019年3月期 第1四半期実績	2
2. 2019年3月期 通期業績予想	6
3. 受注実績及び予想	10
4. 貸借対照表	11

2019年3月期 第1四半期実績 業績のポイント

- ・ 海外住宅・不動産事業及び木材建材事業が堅調に推移し、増収。営業利益、経常利益は損失幅が縮小。
- ・ 四半期純利益の減少は、前期にBloomfield社(米国)の連結子会社化に伴う段階取得差益65億円を特別利益に計上した影響。

(単位:億円)	18/3期 1Q		19/3期 1Q		前期差	前期比
	利益率	金額	利益率	金額		
売上高		2,287		2,493	+206	+9.0%
売上総利益	15.2%	348	15.4%	383	+36	+10.2%
販管費		406		422	+16	+4.0%
営業利益	△2.5%	△58	△1.6%	△39	+19	—
経常利益	△1.9%	△43	△1.1%	△27	+16	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1.0%	24	△1.4%	△35	△59	—

2019年3月期 第1四半期実績 セグメント別業績

- ・ 木材建材 輸入合板をはじめ全体的に販売が好調に推移し、増収増益。
- ・ 住宅・建築 戸建注文住宅は堅調に推移したものの、分譲住宅等が振るわず全体では減収。
資材コスト上昇のほか、展示場関連など受注獲得のための経費増により経常損失が増加。
- ・ 海外住宅・不動産 米国での堅調な販売とBloomfield社の新規連結効果により、増収増益。
- ・ その他 八戸バイオマスの営業運転開始により増収だが、利益は前年同期を下回る。

(単位:億円)		18/3期 1Q	19/3期 1Q	前期差	前期比
売上高	木材建材事業	1,118	1,169	+51	+4.6%
	住宅・建築事業	634	631	△3	△0.4%
	内 リフォーム	125	123	△2	△1.6%
	海外住宅・不動産事業	532	682	+150	+28.3%
	その他	81	93	+12	+14.4%
	調整	△78	△83	△5	—
	合計	2,287	2,493	+206	+9.0%
経常利益	木材建材事業	1.4% 16	1.5% 18	+2	+15.0%
	住宅・建築事業	△12.6% △80	△13.9% △88	△8	—
	内 リフォーム	△4.7% △6	△6.3% △8	△2	—
	海外住宅・不動産事業	4.8% 26	7.2% 49	+24	+91.6%
	その他	7.7% 6	4.0% 4	△3	△41.1%
	調整	△11	△10	+1	—
	合計	△1.9% △43	△1.1% △27	+16	—

※ 組織改正に伴い、18/3期における木材建材、海外住宅・不動産、調整セグメント損益を組み替えています。 Copyright 2018 SUMITOMO FORESTRY CO., LTD. (無断転載禁止)

2019年3月期 第1四半期実績 住宅・建築事業 販売実績(単体)

4

- ・戸建注文住宅は、販売単価は低下したものの棟数が増加し、売上高は堅調に推移。
- ・賃貸住宅は、金額、戸数ともに前年同期を下回って推移。

		(単位:億円)	18/3期 1Q	19/3期 1Q	前期差	前期比
請負事業	戸建注文	金額	343	359	+16	+4.7%
		(棟数)	(816)	(865)	(+49)	(+6.0%)
		百万円(単価)	(42.0)	(41.4)	(△0.5)	—
	賃貸住宅	金額	19	16	△4	△19.9%
		(戸数)	(87)	(68)	(△19)	(△21.8%)
	その他請負	金額	4	2	△3	△62.6%
戸建分譲住宅	金額	20	15	△5	△26.2%	
	(棟数)	(51)	(33)	(△18)	(△35.3%)	
	百万円(単価)	(39.6)	(45.2)	(+5.6)	—	
注文住宅用土地	金額	8	6	△2	△21.5%	
リノベーション	金額	7	3	△4	△58.6%	
その他	金額	14	14	△1	△5.0%	
合計	金額	416	413	△2	△0.6%	
売上総利益率	(%)	(22.8%)	(22.7%)	(△0.1%)	—	
売上総利益	金額	95	94	△1	△1.1%	

2019年3月期 第1四半期実績 海外住宅・不動産事業

- ・販売戸数は、豪州は前年を下回ったものの、米国が堅調に推移し全体では大幅に増加。
- ・前期に連結子会社化したBloomfield社が期初から業績寄与し、増収増益。

(単位:億円)	売上高				経常利益			
	18/3期 1Q	19/3期 1Q	前期差	前期比	18/3期 1Q	19/3期 1Q	前期差	前期比
関係会社計	533	683	+150	+28.2%	46	67	+21	+45.2%
その他及び 連結調整等	△1	△1	+0	—	△21	△18	+3	—
合計	532	682	+150	+28.3%	26	49	+24	+91.6%

●国別販売戸数

	18/3期 1Q	19/3期 1Q	前期差	前期比
米国	1,191	1,465	+274	+23.0%
豪州	632	559	△73	△11.6%
合計	1,823	2,024	+201	+11.0%

2019年3月期 通期業績予想 ポイント

- ・通期業績予想は期初予想を据え置き、売上高1兆3,100億円、経常利益575億円の予想。
- ・数理差異の影響については、予想数値には織り込んでいない。

(単位:億円)	18/3期	19/3期 予想	前期差	前期比
売上高	12,220	13,100	+880	+7.2%
売上総利益	2,193	2,315	+122	+5.6%
販管費	1,663	1,770	+107	+6.4%
営業利益	530	545	+15	+2.8%
経常利益	579	575	△4	△0.6%
親会社株主に 帰属する当期純利益	301	315	+14	+4.5%

※数理差異を除くベース

販管費	1,686	1,770	+84	+5.0%
経常利益	556	575	+19	+3.5%

2019年3月期 通期業績予想 セグメント別業績

- ・ 木材建材 輸入商品の販売が引き続き堅調に推移する見通し。
- ・ 住宅・建築 お客様の多様なニーズにお応えするとともに、収益力の強化などにより通期目標の達成を目指す。
- ・ 海外住宅・不動産 米国での堅調な販売が牽引し、全体としては順調に推移する見通し。
- ・ その他 バイオマス発電事業の業績寄与により、増収増益を予想。

(単位:億円)		18/3期	19/3期予想	前期差	前期比
売上高	木材建材事業	4,652	4,855	+203	+4.4%
	住宅・建築事業	4,492	4,710	+218	+4.9%
	内 リフォーム	663	710	+48	+7.1%
	海外住宅・不動産事業	3,060	3,485	+425	+13.9%
	その他	370	425	+55	+14.8%
	調整	△354	△375	△21	-
	合計	12,220	13,100	+880	+7.2%
経常利益	木材建材事業	1.8% 86	1.9% 90	+4	+4.9%
	住宅・建築事業	5.6% 249	5.3% 250	+1	+0.2%
	内 リフォーム	4.4% 29	5.2% 37	+8	+27.3%
	海外住宅・不動産事業	7.7% 235	6.9% 240	+5	+2.2%
	その他	13.3% 49	12.9% 55	+6	+11.5%
	調整	△41	△60	△19	-
	合計	4.7% 579	4.4% 575	△4	△0.6%

※ 組織改正に伴い、18/3期における木材建材、海外住宅・不動産、調整セグメント損益を組み替えています。

2019年3月期 通期業績予想 住宅・建築事業 販売予想(単体)

8

- ・戸建注文住宅の販売単価は、1Qでは前年同期を下回ったものの、棟数は前年同期を上回っていることから、期初予想は据え置く。
- ・賃貸住宅は第2四半期以降巻き返しを図り、通期計画達成を目指す。

		(単位:億円)	18/3期	19/3期 予想	前期差	前期比
請負事業	戸建注文	金額	2,886	3,000	+114	+4.0%
		(棟数)	(7,556)	(7,700)	(+144)	(+1.9%)
		百万円(単価)	(38.2)	(38.9)	(+0.7)	—
	賃貸住宅	金額	201	215	+14	+6.9%
		(戸数)	(1,353)	(1,240)	(△113)	(△8.4%)
	その他請負	金額	30	38	+8	+27.0%
戸建分譲住宅	金額	124	140	+16	+13.3%	
	(棟数)	(308)	(300)	(△8)	(△2.6%)	
	百万円(単価)	(40.1)	(46.7)	(+6.5)	—	
注文住宅用土地	金額	67	71	+4	+6.2%	
リノベーション事業	金額	31	20	△11	△35.4%	
その他	金額	76	76	△0	△0.4%	
合計	金額	3,415	3,560	+145	+4.3%	
売上総利益率	(%)	(24.6%)	(24.2%)	(△0.5%)	—	
売上総利益	金額	840	860	+20	+2.3%	

2019年3月期 通期業績予想 海外住宅・不動産事業

- ・豪州の販売状況及び米国の土地価格などの上昇に対する注視は必要であるものの、足元の状況から、堅調に推移する見通し。
- ・Crescent社(米国)は7月に取得完了。BSは2Q末、PLは3Q初めから連結予定。

(単位:億円)	売上高				経常利益			
	18/3期	19/3期 予想	前期差	前期比	18/3期	19/3期 予想	前期差	前期比
関係会社計	3,067	3,488	+421	+13.7%	334	325	△9	△2.6%
その他及び 連結調整等	△8	△3	+5	—	△99	△85	+14	—
合計	3,060	3,485	+425	+13.9%	235	240	+5	+2.2%



●国別販売戸数

	18/3期	19/3期 予想	前期差	前期比
米国	6,380	7,000	+620	+9.7%
豪州	2,843	2,850	+7	+0.2%
合計	9,223	9,850	+627	+6.8%

受注実績及び予想

- ・戸建注文住宅では、金額・棟数ともに前期比を上回って推移。
- ・これまでの施策が奏功し、幅広い価格帯で受注が増加。
- ・リフォームは耐震リフォームなど大型物件の受注にも注力し、全体計画の達成を目指す。

(単位:億円)	18/3期 1Q	19/3期 1Q	前期差	前期比	18/3期 実績	19/3期 予想	前期差	前期比
戸建注文 金額	709	737	+28	+4.0%	2,903	2,990	+87	+3.0%
(棟数)	(1,818)	(1,894)	(+76)	(+4.2%)	(7,608)	(7,900)	(+292)	(+3.8%)
百万円(単価)	(33.8)	(33.9)	(+0.1)	—	(33.6)	(33.7)	(+0.1)	—
賃貸住宅 金額	45	43	△2	△4.9%	172	236	+64	+37.2%
(戸数)	(282)	(264)	(△18)	△6.4%	(948)	(1,320)	(+372)	(+39.2%)
リフォーム 金額	156	164	+8	+5.1%	633	745	+112	+17.7%
その他請負 金額	10	7	△4	△36.5%	17	80	+63	+366.6%

貸借対照表

- ・ 前期4Q引渡物件の工事代金支払いに伴い、現預金と仕入債務が減少。
- ・ 海外住宅・不動産事業の拡大を背景に、販売用不動産及び仕掛販売用不動産が増加。

(単位:億円)				(単位:億円)			
	18/3期末	19/3期1Q	増減		18/3期末	19/3期1Q	増減
現預金・有価証券	1,109	965	△144	仕入債務	1,819	1,551	△267
売上債権	1,356	1,345	△12	短期借入金	405	500	+96
商品・製品等	265	289	+24	1年以内償還予定の社債	200	200	+0
未成工事支出金	253	437	+184	未成工事受入金	502	669	+167
販売用不動産	558	612	+54	その他流動負債	635	716	+81
仕掛販売用不動産	1,385	1,407	+22	長期借入金・社債	1,344	1,531	+187
未収入金	417	313	△104	退職給付に係る負債	167	166	△2
その他流動資産	313	378	+65	その他固定負債	463	426	△37
流動資産合計	5,656	5,746	+90	負債合計	5,535	5,759	+225
有形固定資産	1,531	1,499	△32	株主資本	2,735	2,664	△72
無形固定資産	291	285	△6	その他の包括利益累計額	381	301	△80
投資有価証券等	1,514	1,520	+6	非支配株主持分等	340	325	△15
固定資産合計	3,335	3,304	△31	純資産合計	3,456	3,291	△166
資産合計	8,991	9,050	+59	負債純資産合計	8,991	9,050	+59

木と生きる幸福

住友林業グループ

注：本資料上の予想数値は現時点での予測に基づいており、
実際の業績はこれらの予想と異なる場合があります。